平成29年度第10回定例
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

平成29年度第10回定例松本市教育委員会会議録

平成29年度第10回定例松本市教育委員会が平成30年1月25日午後3時00分教育委員室に招集された。

平成30年1月25日（木）

議 事 日 程

平成30年1月25日午後3時00分開議

第1 開 会

第2 教育長挨拶

第3 議 事

[議案]

- 第1号 平成30年度市立小中学校の授業日数について
- 第2号 平成29年度松本市公民館活動推進功労者について
- 第3号 松本市図書館条例の一部改正について
- 第4号 松本市指定文化財の指定及び解除について
- 第5号 「草間彌生展」開催期間等における常設展示観覧料の取扱いについて
- 第6号 松本市美術館条例施行規則の一部改正について

[報告]

- 第1号 新科学館基本構想策定委員の委嘱について
- 第2号 児童生徒の生徒指導上の諸問題に関する調査結果について
- 第3号 松本市特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理協議会委員の委嘱について
- 第4号 信明中学校への不審者侵入について

[周知事項]

- 1 松本市市制施行110周年記念「平成30年松本市成人式」の開催結果について
- 2 発掘された松本2017—松本市遺跡発掘報告会—の開催について

- 3 松本城三の丸跡土居尻第9次発掘調査現地説明会の開催について
- 4 正月三が日の松本城天守の公開結果について
- 5 第17回信州梓川賞展の開催について
- 6 松本市市制施行110周年記念 松本市立博物館分館の企画展開催について
- 7 信州まつもとこどもキャンプの開催結果について

[その他]

〔出席委員〕

教 育 長	赤 羽 郁 夫
教育長職務代理者	市 川 莊 一
教 育 委 員	花 村 潔
〃	福 島 智 子
〃	山 田 幸 江

〔出席職員〕

地域づくり部長	宮 川 雅 行
こども部長	伊佐治 裕 子
教 育 部 長	矢久保 学
教育政策課長	小 林 伸 一
教育文化センター所長	中 村 誠
学校教育課長	麻 田 仁 郎
学校指導課長	横 田 則 雄
学校給食課長	山 田 賢 司
生涯学習課長 兼	
中央公民館長	高 橋 伸 光
中央図書館長	瀧 澤 裕 子
文化財課長	大 竹 永 明
松本城管理事務所長	中 嶋 岳 大
美術館副館長	清 澤 秀 幸
博物館長	木 下 守
博物館事業担当課長	関 沢 聡

〔事務局〕

教育政策課	教育政策担当係長	甕 国 人
教育政策課	教育政策担当係長	堀 敬 子

《開会宣言》 午後3時00分

赤羽教育長は平成29年度第10回定例松本市教育委員会の開会を宣言した。

教育長 今年の冬は大変寒く、明日の朝は最低気温がマイナス10度を下回るという予報も出ています。

私が時々参考にしてしている気象と生活の関係をまとめた「季節の辞典」という本によりますと、松本の最寒期、一日の平均気温が最も低い時期は統計的にいくと1月27日となっています。今年は丁度重なることになりそうです。

私の住んでいる神田には昔から戸隠講がありまして、年に1回は代表がお参りに行き、お札等を配っています。昔は、農家のほとんどが入っていましたが、現在では10件程となりました。私の家はもう農家ではありませんが、昔からの繋がりでも入っています。正月には、戸隠神社から送られてきた「戸隠神社種兆」が毎年配られます。農作物の作柄予想や月ごとの気象の予想などが書かれています。毎年見っていますが、そのうちに忘れてしまいます。今年は、お札に書かれていることと実際はどうかを調べてみたいと思っています。

いずれにしても、私たちは昔から自然と一体となって暮らしてきた証がこのように続いていることを大切にしていきたいと思っています。

本日の3分間スピーチは高橋生涯学習課長です。

よろしくお願いします。

生涯学習課長 「共同学習等について」3分間スピーチ

教育長 ありがとうございます。

次回は山田学校給食課長ですので、よろしくお願いします。

《署名委員の指名》

本日の会議録署名委員は、市川委員、花村委員ですので、よろしくお願いいたします。

《議案審議》

教育長 本日の案件は議案が6件、報告4件、周知事項が7件です。

<議案第1号> 平成30年度市立小中学校の授業日数について

学校指導課長 議案第1号「平成30年度市立小中学校の授業日数について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ありますか。

市川委員 子どもたちの休みを増やすことが一番大切だと思いますが、それに伴って先生方も一緒に休ませることも大事なことだと思います。

現在、国では「働き方改革」と言っております。是非、先生方の休みについても考えてもらいたいと思います。

教育長 本年度、先生方の休暇として夏休み中のお盆を閉庁日とし、年休や夏季休暇を取得しやすいよう、全員の先生が休める状況をつくりました。

是非、休むことを奨励し、しっかり休んでリフレッシュして欲しいと思います。

他にご意見等ございますか。

無いようですので、議案第1号については承認することとします。

<議案第2号> 平成29年度松本市公民館活動推進功労者について

生涯学習課・中央公民館館長 議案第2号「平成29年度松本市公民館活動推進功労者について」趣旨、目的、推薦基準、功労者、感謝状の贈呈を説明

教育長 ご意見、ご質問等ありますか。

例年と比べて功労者の数の推移はどうでしょうか。

生涯学習課・中央公民館館長 去年は25名です。今年は29名ですので増加しました。

教育長 そうですか。

それでは、特にご意見等が無いようですので、議案第2号は承認することとします。

<議案第3号> 「松本市図書館条例の一部改正について」

中央図書館長 議案第3号「松本市図書館条例の一部改正について」趣旨、改正内容、新旧対照表、施行期日、今後の予定を説明

教育長 ご意見、ご質問等ございますか。

花村委員 休館としたときの職員の勤務体制は大きく変わるのでしょうか。

中央図書館長 変わりません。

教育長 他にご発言が無いようですので、議案第3号は承認することとします。

<議案第4号> 「松本市指定文化財の指定及び解除について」

文化財課長 議案第4号「松本市指定文化財の指定及び解除について」趣旨、指定する文化財、指定解除する文化財を説明

教育長 ご意見、ご質問等ございますか。

無いようですので、議案第4号については、承認することとします。

<議案第5号> 「「草間彌生展」開催期間等における常設展示観覧料の取扱いについて」

<議案第6号> 「松本市美術館条例施行規則の一部改正について」

美術館副館長 議案第5号「「草間彌生展」開催期間等における常設展示観覧料の取扱いについて」趣旨、減免理由、概要、周知方法、その他を説明

議案第6号「松本市美術館条例施行規則の一部改正について」趣旨、改正理由、改正内容、新旧対照表、施行期日を説明

教育長 議案第5号、6号合わせて説明いただきました。どちらからでも結構ですので、ご質問、ご意見等ございますか。

無いようですので、承認することとします。

<報告第1号> 新科学館基本構想策定委員会の委員の委嘱について

教育文化センター所長 報告第1号「新科学館基本構想策定委員会の委員の委嘱について」

趣旨、委嘱予定者、任期、松本市新科学館基本構想策定委員会設置要綱、委員会における協議事項、今後の進め方を説明

教育長 ご意見、ご質問等ございますか。

無いようですので、報告第1号については、報告を受けたこととします。

<報告第2号> 児童生徒の生徒指導上の諸問題に関する調査結果について

学校指導課長 報告第2号「児童生徒の生徒指導上の諸問題に関する調査結果について」趣旨、報告内容、調査対象校・調査児童生徒数、調査結果、今後の取組みを説明

教育長 ご意見、ご質問等ございますか。

福島委員 4調査結果(1)不登校の状況イ不登校の要因・状況の学校に関わる状況で「学業の不振」が中学生で65件ということですが、内訳が分かりましたら教えてください。そして、この中で小学校から継続しているものがあるか教えてください。

さい。それから、同じく中学生で「家庭に係る状況」が69件ですが、例えば、一人親世帯や貧困ということと学業の不振が関連していると思われるのかどうかということについても教えてください。

学校指導課長 学業の不振について、小学校も含め、学年別に集計値を分けておりませんのでこれは合計値になります。また、1件について複数カウントになっておりますので、不登校の原因が、例えば学業不振だけということではありません。今、ご指摘いただきました、家庭の状況と学業がどのように絡んでいるかというようなクロス集計は複数カウントですのでそこまでは分かりません。一人ひとりの生徒を見ていくと、家庭環境もある学業不振もあると見ていけると思いますが、この数値からは、申し上げることができません。個々の生徒の状況については、横林不登校支援アドバイザーや担当主事が学校訪問の中で不登校の状況の追跡や経過観察をしておりますので小学校から継続しているかどうかは掴めております。しかし、全体的に何か傾向があるというようなところまでの分析は至っておりません。

花村委員 調査対象校に女鳥羽中学校あさひ分校、波田中学校松原分校とありますが、この分校をカウントに入れた理由はどのようなことでしょうか。

学校指導課長 この調査は、松本市の全ての小中学校が調査対象となっております。

花村委員 わかりました。

もう一つ、いじめの態様別集計に「パソコンや携帯電話等誹謗中傷やいやなことをされる」とありますが、調査は具体的にどのようにしているのですか。

学校指導課長 この中身は、フェイスブックによる悪口、ラインのグループ外し、仲間外し等です。平成29年松本市議会2月定例会で「いじめ実態調査にネット上のいじめに関する項目を追加できないか」という質問があり、今年度から新たにアンケートの調査項目として加えたものです。これまで、子どもたちは「ネット上のいじめについては、アンケートで回答していない」、そういう思いがありました。記入例として上げておけば聞き取りやすくなる、書きやすくなるということで調査をしています。SNS等に関わっている子どもたちが「この記述おかしくない」とか、「これ仲間外れだよ」と子どもたちの意識が高まればこういうことは少なくなると思っています。子どもたちから「これって先生いじめだよ」というような、そういった訴えが出され、使っている子どもたちの

モラルが上がることによって、防止に繋がるのではないかと考えています。

今は、外部から監視し、「これははじめだよ」とチェックをすることは難しくなっていると思います。

教育長 他にご意見等ありますか。

市川委員 先程の福島委員の質問に対する回答について、もう少しつけ加えて質問をします。

不登校の要因・状況ですが、小学校で学業の不振が原因で不登校になっている子どもが14人、中学校では65人。家庭に係る状況が原因で不登校になっている子どもが22人、中学校では69人。この小学校から中学校の関連が不明ということですが、指導主事や横林不登校支援アドバイザーが一生懸命対応されていますので、関連をしっかりと掴んでおくことが非常に大事なことではないでしょうか。数字で把握しておかないと、次の対策を考えていくことにも繋がらないと感じますが、いかがでしょうか。

学校指導課長 ありがとうございます。最終的に1年分の報告をする機会もありますので、その際に、ご指摘いただいた部分につきましては報告をしたいと思います。

現時点で分かっていることは、昨年150日以上休んでいた子どもの中で、今年度30日未満で不登校から脱した生徒が7名いたと思います。その7名のうち5名は現学級に戻れたと聞いております。数字のデータではそういうことの分析はできております。

自立支援教員や特別支援員、中間教室の適応指導員の研修会の中で具体的に数字のお話はしております。昨年、一生懸命関わってくれたことで150日以上の子もたちがこんなふうになりましたというお話は研修会の中でお話しています。

今後は、教育委員の皆さんからいただいたご意見を踏まえ、もう少し調査結果をうまく使えるよう考えていきたいと思っています。

福島委員 しつこいようで申し訳ありませんが、先ほどクロス集計ができないということでしたが、この調査の取り方とかこの集計です。それぞれの学校でまとめて先生が、例えばこの項目は何件、何件というのが上がってきて、個票というのでしょうか、それは全く見ず、個別の情報は各学校が持っているその集計したものを各学校が提出してこの数値になっているとすると、クロス集計は出

来ないと思いますが、せっかく、ここまで細かく出されているので、時間をかけるのであればその情報をもっと有効に使えると思うのです。200人以上の不登校の児童生徒、全員を把握することはとても難しいと思いますが。全ての情報を見せて下さいと言っているのではなく、数値として捉えた時にもう少し効率のいい見方が出来るのではないかと思います。私が気になったのは学業の不振に家庭環境が関連しているのではないかと思います。しかし、数値だけで中身については不明で、そこが少し歯がゆい感じがします。

今後、その集計の仕方について改善していただき、先ほど市川委員もおっしゃっていましたが、次の対策に繋げていただきたいと思います。

学校指導課長 ありがとうございます。まず、不登校の状況の長期欠席児童生徒、小学校75名と中学校179名については全員追跡調査が可能です。個票もあります。AさんならAさんがどういう状況で不登校なのか、学校側としてどのような見方をしているのかということは、学校で分類表にチェックしてきます。この不登校の要因は幾つかの複合だとか、あるいはこれはこの2つのことが一番強いよねというような形で入れていきますので、一人ひとり追跡調査していくことは可能です。それに基づいて小学校から中学校への申し送りや中学校での受入れに当たり配慮すべきことというようなことも実際に中学校で役立ててもらっています。

このような集計方法は文科省の全国調査に基づいたものです。これが上半期ですので今度は下半期、それを合わせて1年間の報告となります。文科省からは年に1回、長野県からは上半期と下半期に分けて報告を求められております。そのもとのデータを使って、今、委員さんがご指摘されたようなクロス集計を独自にかけて、松本市として分析することは、もとのデータがありますので可能だと思います。それぞれ県や国に報告する場合にはこの様式でということですので、今ご指摘いただいたところはまた担当者と検討してまいります。

特に、家庭状況や学力だとか幾つか目立つ項目をピックアップしてその関連について調べていけるかどうか検討してみたいと思います。ありがとうございます。

市川委員 出来ることなら不登校の子どもに何とか学校が好きになってもらい、学校に

来ることで友達を沢山作り人との関わりも持ってもらいたい。何か次のステップになるようなことをさせてやりたいと思います。調査をすることで、是非、この数字を基に松本市で方向性を出してもらいたいと思います。例えば、「こういう家庭でこういう子どもたちがこうやってやると学校に出てこられるようになる」とか、そういうものを松本市でもつくってもらえたらと思いました。

それから、素人感覚でいけませんが、調査が余り細かくなり過ぎる故に子どもの気持ちとずれてしまうことがあるのではないかとも思いました。

教育長

今、横田学校指導課から説明がありましたが、これはあくまで県や国へ報告する形式の報告です。それぞれの学校、横林不登校支援アドバイザーは個票を持っていて、その個票を基に対応しております。要因も複合的なものでいうことですので、それが今年是不登校に特化した自立支援教員を配置して今、取り組んでいるところです。

先ほども話がありましたが、昨年度に比べ学校に行けるようになった子どもたちが増えてきています。国では不登校について「問題行動として捉えない」と言っておりますが、私たちは、やはり学校へ来てもらいたいという強い願いもありますし、何よりも社会性というのでしょうか人間関係を豊かにしてもらいたいと思っております。

それから、4の(2)いじめの状況のイ「発見に至った経緯別集計」を見ると小学校と中学校でかなり違うと感じました。小学校は児童生徒（本人を除く）周りの友達、それから保護者（本人の保護者を除く）からの情報等、多様なところからいじめではないかという情報があります。ところが中学校は、学級担任が発見は2件、スクールカウンセラーが発見したものは0件、生徒（本人を除く）からの情報も1件となっており、周りの子どもたちからはほとんど情報が入ってこないということが分かります。ですので、小学校の方がより見えやすくなっていると感じました。逆に中学校ではどう情報を掴んでいくか、私たちが掴めきれないいじめが常にあるという認識で当たっていかないといけなとも感じました。これを比較しただけでも何か本当にいじめの難しさがあると感じました。それから、エの「解消に向けて取り組み中」のところも少なくとも3カ月を目安ということと、被害児童生徒が苦痛を感じていないこと、この2つの要件を満たすということをどのように判断していくかが非常に難しい

ことだと思えます。3カ月経過して本人に、「もう大丈夫か」と聞いて、「はい」と言えばいいということでしょうか。何かそれも判断が非常に難しいと感じました。本当はそうではなかったけれど、先生から「大丈夫か」と言われたら、「はい」と言ってしまいましたみたいなことも幾らでもあります。国ではいじめ等に関して「こうした場合にはこうだ」と具体化して提示して来ますが、余計見えにくくなり難しくなっているという部分がありますので、これは本当に考えていかななくてはいけないことだと改めて思わされました。

他にご意見等ありますか。

山田委員

今、赤羽教育長のおっしゃったことが私もひっかかっておりました。4(2)オのウの「いじめが解消している状態」というのは、2つの要件を満たすということですが、どうやって解消していると判断するのか。聞き取りでしょうか。もしそうなら、誰が聞き取るのかと思ったのです。「解消しているもの」が中学校は少なく、「解消に向けて取り組み中」はありますが、この中に「取り組み中で困難な場合」というものもあるのではないかと思います。というのは、いじめというのは被害を受ける子どももとてもつらいですが、「あの子にやられた」とか「こういうことされた」と言ったときに指名された子どもが果たしてどう認めるか、そこら辺も学校でどういう聞き取りをされ、困難さはないのかということをおもいました。小学校は突っ込んでいくと、「僕がやりました」とか「言っちゃいました」と言いやすいのですが、中学生はどうなのかともおもいました。話がこじれてしまい、返ってひどくなってしまうようなこともあるのではないかと思いますので、取り組み中の困難さみたいなものが分かれば教えてください。

学校指導課長 取り組み中の困難の度合いについては分かりません。恐らく数カ月間取り組み中が続いていくなかで、3カ月を超えた事案が多くなり累積されていく、あるいは最初に報告されてから4カ月も5カ月も経つがまだ取り組み中だということになると、解決がそれは困難だろうという判断に至ると思います。これは学校から解消したか解消に向けて取り組み中かというところにチェックが入ってきますが、まだ学校側がどのように具体的にそれを調べているかというような個々の事案については分かりません。間違いなく言えることは、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないということは本人に聞かないと分かりませんの

で、まずは本人から聞き取る、あるいはアンケートをして以前のあったものが解消されたとはっきり返ってこない以上、で解決したとは言えません。いじめられたという本人が特定できるものについては本人からの聞き取りあるいはアンケートで確認する方法が一つ考えられます。それが3カ月間何もなかったということなら、これは取り組み中から解消したと見なすよう各校にはお願いしています。それぞれの学校がどのような手段を使って個々の事案が現在どういう状態を調べるのかという細かなところまでは指示をしておりません。

また下半期の調査もありますので、担当から教頭先生や生徒指導担当に確認の方法や何か工夫していることはありますかというような問いを投げかけてみたいと思います。

教育長 この形式が全国統一になっており、報告の難しさもあります。ただ、工夫等については、「この学校ではこんな工夫をしている」というようなことは、ぜひ広めたりしていただけたらと思っています。

それでは、報告第2号については報告を受けたこととします。

<報告第3号> 松本市特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理協議会委員の委嘱について

文化財課長 「松本市特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理協議会委員の委嘱について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

無いようですので、報告第3号については報告を受けたこととします。

<報告第4号> 信明中学校への不審者侵入について

学校教育課長 報告第4号「信明中学校への不審者侵入について」趣旨、経過、被害状況、当日学校がとった状況、今後の対応を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

無いようですので、報告第4号については報告を受けたこととします。

<周知事項1> 松本市市制施行110周年記念「平成30年松本市成人式」の開催結果について

- <周知事項2> 発掘された松本2017—松本市遺跡発掘報告会—の開催について
- <周知事項3> 松本城三の丸跡土居尻第9次発掘調査現地説明会の開催について
- <周知事項4> 正月三が日の松本城天守の公開結果について
- <周知事項5> 第17回信州梓川賞展の開催について
- <周知事項6> 松本市市制施行110周年記念 松本市立博物館分館の企画展開催について
- <周知事項7> 信州まつもとこどもキャンプの開催結果について

教育長 何か補足等ございますか。

生涯学習課・中央公民館長 成人式についてです。ご協力いただきましてありがとうございました。何かお気づきの点等ありましたら、ご連絡をいただければ大変ありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

教育長 予定されていた案件については終了しました。

他に何かありますでしょうか。

それでは、事務局からお願いします。

教育政策課長 2月15日が教育委員会研究会、22日が定例教育委員会となります。

中学校の卒業式は、3月14日の午前中、安曇中については3月15日、小学校の卒業式が3月15日の午前中、大野川小、それから奈川小は3月14日となっておりますのでよろしくお願いいたします。

日程は以上でございます。

《閉会宣言》

赤羽教育長は、平成29年度第10回松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

<午後4時45分閉会>

会議録調製職員

教育政策課教育政策担当係長

堀 敬子

会 議 録 署 名 委 員

市川 莊一

花村 潔